

子ども・学校を
めぐる状況

子ども・学校の課題

- ・資質・能力の向上
- ・授業改善・授業力の向上
- ・不登校・学校不適応、いじめ
- ・多様な背景を持つ児童生徒への対応
- ・全職員参画による学校経営
- ・学年、学級経営力
- ・自己存在感、自己有用感
- ・社会性、規範意識、人間関係形成、自己調整力
- ・学ぶ意欲・目的、将来設計
- ・幼保小・小中連携、小中一貫
- ・校内での人材育成（OJT）

社会の現実

- ・ウェルビーイングの向上
- ・多様な価値観
- ・情報化の一層の進展
- ・児童虐待等、解決困難な諸課題
- ・グローバル化
- ・地方と中央の格差
- ・復興への温度差、地域差
- ・コミュニティの存続危機
- ・将来への不安

教育の動向

- ・令和の日本型学校教育の構築
- ・一人一人の子供を主語にした学び
- ・社会に開かれた教育課程
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・カリキュラム・マネジメント
- ・GIGA スクール構想
- ・教育DXの更なる推進
- ・多様性と包摂性
- ・幼保小接続、小中連携への推進
- ・働き方改革の更なる推進

岩手県小中学校
学校教育の重点

◎共通事項として取り組む

内容

1 岩手で、世界で活躍する人材の育成

- ・「いわての復興教育」の推進
- ・キャリア教育の充実

2 確かな学力の育成

- ・確かな学力育成プロジェクトの推進
- ・幼児期の教育との円滑な接続
- ・教育の情報化

3 豊かな心の育成

- ・道徳教育の充実
- ・人権教育の推進
- ・体験活動の充実
- ・文化芸術教育の充実

4 健やかな体の育成

- ・学校体育・学校保健・食育の充実
- ・適正な学校部活動運営の推進

5 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進

- ・「共に学び、共に育つ教育」の推進

6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策の推進

- ・いじめ問題への対応
- ・不登校対策
- ・情報モラルに関する指導

7 学びの基盤づくり

- ・家庭と地域との協働による学校経営
- ・学校安全の確実な推進

◎各学校の方針により重点

化して取り組む内容

- ◇消費者教育
- ◇主権者教育
- ◇環境教育
- ◇学校図書館教育
- ◇国際理解教育・帰国外国
人児童生徒等教育
- ◇小規模・複式教育

令和7年度（2025）

アプローチ（取組・評価）

めざす
学校像

※チームとしての学校の在り方と今後の改善の方策について（答申）H27.12.21中央教育審議会

「チームとしての学校」の充実・強化

【重点項目】

【主な具体的取組】

【いわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプランにおける
盛岡教育事務所管内の主な指標の目標値】◆いわて幸福関連指標
○具体的推進方策指標

「社会に開かれた教育課程」

の実現

- ①「いわての復興教育」の推進
ア 「いわての復興教育」プログラムに基づく教育活動の推進
イ 資質・能力の育成を目指したカリキュラム・マネジメントの推進
ウ 地域との連携による教育活動の質の向上
- ②キャリア教育の充実
ア 「キャリア教育全体計画」に基づき、自らの在り方生き方を考え、学ぶことの意義を実感する教育活動の推進
イ ねらいを明確にした体験的な活動の充実と質的向上
- ③確かな学力の育成
ア 「確かな学力育成プラン」に基づいた組織的・計画的な取組の充実
イ 校内研究の活性化による全ての児童生徒の学習内容の確実な定着を図る授業の質的向上
ウ 学習指導要領及び令和3年答申などの趣旨を踏まえた教育活動の一層の推進
エ ICTの効果的な活用（教師の生成AI活用を含む）による学習活動の充実
オ 自立を育む家庭学習の指導の充実
カ 「架け橋期のカリキュラム」に基づいたスタートカリキュラムの充実
- ④豊かな心の育成
ア 互いの人権や多様性を認め合う道徳教育や人権教育の充実
イ 道徳教育指導計画の整備と組織的な推進体制の構築
- ⑤健やかな体の育成
ア 「60（ロクマル）プラスプロジェクト」の推進
イ 学校体育及び保健教育の充実
ウ 学校部活動の適切な運営等の推進
- ⑥多様な背景を持つ児童生徒への支援の充実
ア 「いわて特別支援教育推進プラン（2024～2028）」を踏まえた特別支援教育の推進
イ 児童生徒の多様性を踏まえ個々の教育的ニーズに応じた組織的な指導・支援の充実

- ①「いわての復興教育」の推進
・いわての「ひとづくり」研修会
・令和研Ⅱ（教務主任等対象）
- ②キャリア教育の充実
・いわての「ひとづくり」研修会
- ③確かな学力の育成
・出前研修（SL講座）
・授業力向上SV・AD事業
・授業力ブラッシュアップ事業
・小中学校教育課程協議会
・令和研Ⅰ（研究主任対象）
・小学校低学年教育研修会
・検証改善サイクルモデル校
・小中をつなぐ外国語教育推進研修会
・「確かな学力育成プラン」の推進状況の把握と取組支援
- ④豊かな人間性の育成
・令和研Ⅲ（生徒指導主事等対象）
・小学校低学年研修会
- ⑤健やかな体の育成
・「60（ロクマル）プラスプロジェクト」
・地区別体力向上担当者研修会
・地区別授業改善研修会
・中学校部活動連絡会等支援事業
・指導養護教諭の活用
・健やかな体の育成サポート訪問
・各種調査による現状把握及び情報提供
- ⑥特別支援教育の充実
・特別支援教育担当ステップアップ研修
・エリアコーディネーター訪問支援

※「2025 目標値 県」・・・第2期アクションプランの「計画目標値」

指標	校種	県			事務所目標	
		R7 目標値	R6 結果	R7 目標	R6 結果	R7 目標
◆将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 ※全国学調 肯定回答	小	83.6	83.8	84.3		
	中	75.2	71.6	72.1		
◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合 ※全国学調 肯定回答	小	82.5	83.0	83.5		
	中	85.4	82.9	83.4		
◆授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合 ※全国学調 肯定回答	小	83.0	86.5	87.0		
	中	83.5	88.7	89.2		
◆人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合 ※県学調 積極肯定回答	小	70	66	67		
	中	68	64	65		
◆自己肯定感を持つ児童生徒の割合 ※全国学調 肯定回答	小	79.0	81.1	81.6		
	中	79.0	84.1	84.6		
◆体力・運動能力標準以上の児童生徒の割合 ※県体力・運動能力等調査	小男	70.0	68.3	68.6		
	小女	80.0	71.4	73.5		
	中男	75.0	71.5	72.3		
	中女	90.0	84.4	85.7		
運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合 ※県体力・運動能力等調査質問紙調査肯定回答	小中	89	91	92		
朝食を毎日食べる児童生徒の割合 ※県体力・運動能力等調査質問紙調査	小	97	96	97		
	中	92	94	95		
毎日一定の時刻に就寝する児童生徒の割合 ※全国学調	小	85	84.3	85		
	中	85	84.2	85		
「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	小中	100	100	100		

環境

誰一人取り残さない安全・安心な

居場所づくり

- ①生徒指導の充実
ア 生徒指導の実践上の視点を踏まえた自己有用感を高める教育活動、学年・学級経営の推進
イ 社会性や協調性、自己指導能力を育む教育活動の推進
- ②安全・安心な風土の醸成
ア 不登校の未然防止に向けた「魅力ある学校づくり」の推進
イ いじめ、問題行動等の未然防止と組織的対応の強化
ウ 情報化社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を育む情報モラル教育の充実

- ①生徒指導の充実
・令和研Ⅲ（生徒指導主事等対象）
・SL講座における教員との懇談
- ②安全・安心な風土の醸成
・いわての復興教育スクール（内陸）
・各種調査結果に基づく指導支援
・こころのサポートの充実
・ふれあい電話
・SC、SSW等の効果的な活用
・出前研修（SL講座）

組織力

学校経営体制の充実・強化

- ①家庭・地域と協働する開放的で個性的な学校づくり
ア 目標達成型の学校経営の取組の継続とコミュニティ・スクールの推進
イ 各中学校区の課題に応じた小・中連携の充実
- ②目標達成型の学校経営の推進
ア 「まなびフェスト」の達成状況等に基づいた学校運営の改善の積極的な推進
イ 学校全体で組織的に取り組むカリキュラム・マネジメントの推進
ウ 教員等の資質向上
- ③安全・安心な学校環境の整備
ア 学校安全計画や危機管理マニュアルを踏まえた組織的取組の推進
イ 家庭・地域・関係機関等との連携・協働による学校安全の確実な推進

- ①家庭・地域と協働する開放的で個性的な学校経営の推進
・地域とともにある学校づくり推進フォーラム
- ②学校内の人材育成による全教職員の指導力向上
・研修履歴を活用した対話による受講奨励支援
・教員育成指標を活用した人材育成支援
・初任者研修、2年目、3年目研修
・初任者等若手教員に関する情報共有と支援
・教職経験者5年研修講座
・中堅教諭等資質向上研修
・ステージアップ研修
・学校公開、校内研、出前研修（SL講座）等での指導支援

指標	単位（%）	校種	県			事務所目標	
			R7 目標値	R6 結果	R7 目標	R6 結果	R7 目標
○いじめはいけないうる児童生徒数の割合 ※全国学調 肯定回答		小	100	96.5	100		
		中	100	96.1	100		
○学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合 ※県学調 肯定回答		小	90	83	85		
		中	85	85	87		
○スマートフォン等を使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合 ※県学調 肯定回答		小	100	98	100		
		中	100	98	100		

指標	単位（%）	校種	県			事務所目標	
			R7 目標値	R6 結果	R7 目標	R6 結果	R7 目標
○地域住民などによる見守り活動が行われている学校の割合 ※保健体育行政関係調査		小中	85.0	94.4	100		
○コミュニティ・スクールを導入している学校の割合 ※生涯学習文化財課調べ		小中	85.0	78.4	90.3		

学びと絆で

夢と未来を拓き

社会を創造する人づくり